

機械の総合メーカー
Miyazaki

太物CHVアライ伸線機

そして新しい分野へも――

横型巻落し式伸線機
Model:HDW1050-F
仕上径:Max.φ45mm

宮崎機械システム株式会社

本社・工場/〒597-8588 大阪府貝塚市新井1番地
TEL.(072)427-7345㈹ FAX(072)427-6967URL : <http://www.miyazakijp.com>

コイル加圧結束装置



冷間圧延・伸線のトータルエンジニアリングで線材加工技術の未来を拓く

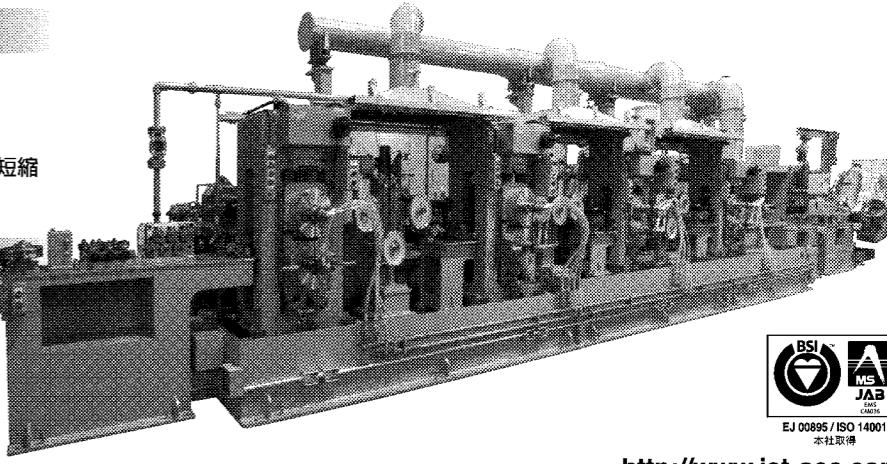
4タンデム圧延機ライン

特長

- 環境にやさしいオイルミストコレクター付
- 主モーターはベクトルインバータを採用
- フィードバック制御(AGC)機構付
- ロール解体装置を内蔵し、ロール交換は大幅に短縮
- 巻取機は100kg～2000kg巻取り可能

仕様

ライン速度: 0～80‰分
厚み: 0.8t～4.0t ±0.01以内
幅: 4.0～15.0mm ±0.05以内
No.1.2圧延機: φ300 超硬ロール
No.3.4圧延機: φ200 超硬ロール

EJ 00905 / ISO 14001
石橋鐵工株式会社

http://www.ist-osa.com

本社工場 T574-0023 大阪府大東市南新田2-3-1 ☎072-874-8811㈹ FAX 072-875-2383
東京営業所 〒272-0141 千葉県市川市香取2-12-11 ☎047-356-7960㈹ FAX 047-356-2672

線材加工機 & 関連機器

吉田記念は各種圧延機、スエーリングマシン、カセットローラーダイス、ターケスヘッドなど、切削をしないで成形加工ができる製造機のメーカー。

カセットローラーダイスは、六ダイスと比較して、ローラーに加工形状の溝をつくり引き抜き加工する機械。異形状加工

吉田記念は各種圧延機で、アサヒ精機鉄工の異形線圧延機は圧延精度や異形線に優れている。圧延加工スピードは最大毎分150m/minを誇り、しかも高い加工精度を維持している。

独自技術の超硬ロールとターケスローラーの組み合わせでH割れ(高速精度)が発生時に起きるH状のひび割れ(ひび割れ)を少なく抑えられる。

主要各社の製品・技術

順不同

アサヒ精機鉄工

アサヒ精機鉄工の異形線圧延機は、圧延精度や異形線に優れている。圧延加工スピードは最大毎分150m/minを誇り、しかも高い加工精度を維持している。

独自技術の超硬ロールとターケスローラーの組み合わせでH割れ(高速精度)が発生時に起きるH状のひび割れ(ひび割れ)を少なく抑えられる。

石橋鐵工

石橋鐵工の4タンデム圧延機は、オイルミストコレクターの取り付けにより油煙が拡散せずに、環境にやさしい設計が施されている。

駆動は速度安定制御の正確な幅・厚みを管理するためベクトルインバータを使用。たるみ制御のダンサーロールには超精密リリーフ付きレギュレ



加工機 中國・アジア市場に向け需要堅調

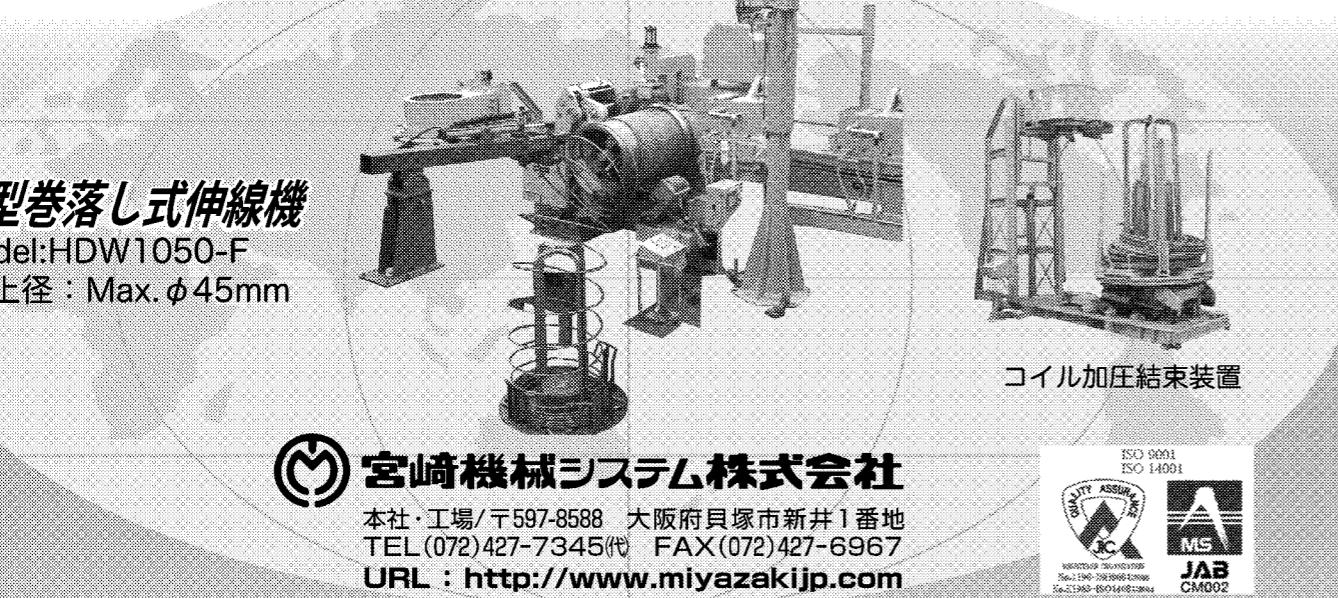
線材(ワイヤロッド)にさまざまな塑性加工を行う線材加工機は、線材製品の品質を決める重要な役割を担う。作り出される各種の線材加工品は建築、土木、自動車など幅広い分野で多種多様に使用されている。国内経済が停滞するなか、加工機メーカーのなかには自動車産業が拡大する中国に現地法人を設立し、販売拠点を設ける展開も出てきた。さらにアジア新興国市場にも照準を合わせて、アプローチを強めている。

高品質・高付加価値化に応える

線材(ワイヤロッド)にさまざまな塑性加工を行う線材加工機は、線材製品の品質を決める重要な役割を担う。作り出される各種の線材加工品は建築、土木、自動車など幅広い分野で多種多様に使用されている。国内経済が停滞するなか、加工機メーカーのなかには自動車産業が拡大する中国に現地法人を設立し、販売拠点を設ける展開も出てきた。さらにアジア新興国市場にも照準を合わせて、アプローチを強めている。

線材(ワイヤロッド)にさまざまな塑性加工を行う線材加工機は、線材製品の品質を決める重要な役割を担う。作り出される各種の線材加工品は建築、土木、自動車など幅広い分野で多種多様に使用されている。国内経済が停滞するなか、加工機メーカーのなかには自動車産業が拡大する中国に現地法人を設立し、販売拠点を設ける展開も出てきた。さらにアジア新興国市場にも照準を合わせて、アプローチを強めている。

線材(ワイヤロッド)にさまざまな塑性加工を行う線材加工機は、線材製品の品質を決める重要な役割を担う。作り出される各種の線材加工品は建築、土木、自動車など幅広い分野で多種多様に使用されている。国内経済が停滞するなか、加工機メーカーのなかには自動車産業が拡大する中国に現地法人を設立し、販売拠点を設ける展開も出てきた。さらにアジア新興国市場にも照準を合わせて、アプローチを強めている。



材市場は、主力の建設、土木向けの低迷が続いている。東日本大震災の復興需要への効果も明確に見られず、期待感は乏しい。こうしたなかで、順調なのが自動車向け。リーマン・ショック、タイ洪水の影響を受けながらも、新興国などの需要は堅調だ。けん引は中国、アジア市場だ。中国の2009年の新車販売台数は1334万台(前年比4.2%増)、10年は806万台(同32.4%増)、11年は1850万台(同32.4%増)、12年は2000万台(同11.1%増)となる。車体重量約10tを占める、ともいわれるほどだ。

自動車関係の線材加工部品用にH鋼線向け伸線機器「アサヒミルコントローラーAMCシリーズ」が搭載。製造洗浄機の組み立て作業(宮崎機械システム本社工場)の連続管理を実現。

高級鋼線を生産(同12年1月25日付)する予定で、中国で特殊鋼線材の増産(同11年11月16日付)も計画するなど、中国・アジア市場の将来を見据えたプロジェクトが続いている。神戸製鋼所は中国で弁パネ向けて輸出拠点となっているタ

台(同2.5%増)と年を追うごとに伸びている。11年は伸び率自体は鈍化し、中国经济の減速傾向が懸念されるものの、今後は中間所得層への広がりも見込まれる。さらには、拡大する新興国の自動車需要を取り込もうとする動きも活発化している。住友電気工業は銅線材・アルミ棒材を14年タイで生産(日刊工業新聞12年1月16日付)する見込み。神戸製鋼所は中国で弁パネ向けて輸出拠点となっているタ

イに加え、今後インドネシアなどの市場も重視す

る。アジアの新興国を中心拡大する自動車市場において取り組んでおり

「国内の技術営業を中国へもシフトしていく」

(宮崎和昭社長)考えた。

人材教育にも重点を

おいて取り組んでおり

「国内の技術